

「レポートの書き方」 第8章 確認テスト

学籍番号 _____

名前 _____

第8章の確認テストです。『レポートの書き方』第8章の内容がきちんと身についているかどうかを確認しましょう。

問1 次の問いに答えなさい。

「レポートの書き方」の内容を踏まえて、下記の文章の空欄に当てはまる言葉を選びなさい。

レポートに仕上げるためには、必ず「推敲」と「校正」をしなければならない。「推敲」とは（ア）、
「校正」とは（イ）をいう。

- 1 (ア) もう一度、最初からレポートを練り直すこと (イ) より伝わる文章にするために、何度も練り直すこと
- 2 (ア) 誤字脱字など、すぐに直せそうな部分だけ修正すること (イ) より伝わる文章にするために、何度も練り直すこと
- 3 (ア) もう一度、最初からレポートを練りなおすこと (イ) すぐに直せそうな部分だけ修正すること
- 4 (ア) より伝わる文章にするために、何度も練り直すこと (イ) 誤字脱字など、表記上の誤りを直すこと

問2 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、効率よく推敲・校正するための注意事項として、ふさわしくないものを一つ、選びなさい。

- 1 書き上げた文章を、口を動かし、声に出して読んでみる。
- 2 レポートを書き上げたら、できるだけ時間をおかずにすぐに見直す。
- 3 レポートをチェックするときには、黒ではなく「赤ペン」を使ってチェックする。
- 4 PC やタブレット等の画面上で見直すのではなく、プリントアウトしたものを見直す。

問3 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の中から、レポートにおいて発見した際に修正すべきものを一つ、選びなさい。

- 1 事実と意見が明確に区別されている。
- 2 話し言葉や俗語、顔文字などは一切用いていない。
- 3 「思う」「感じた」などの主観的表現を一切用いていない。
- 4 終始一貫、「です・ます」体で統一して書くことができている。

問4 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の中から、レポートにおいて発見した際に修正すべきものを一つ、選びなさい。

- 1 序論部分で「問い」や「目的」が明確に示されている。
- 2 本論部分でも結論部分でも、感想を一切述べていない。
- 3 レポート字数の半分を使って、序論を丁寧に書き上げている。
- 4 結論部分で、レポートの「問い」に対する「答え」を明確に示している。

問5 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の中から、レポートにおいて発見した際に修正すべきものを一つ、選びなさい。

- 1 予想される反論を想定し、それに対する再反論もできている。
- 2 自分の主張を支えるような根拠が本論部分で複数示されている。
- 3 自分の意見を支えるような適切な具体例を挙げることができている。
- 4 序論で書き上げたレポートの趣旨とは大きくずれた「答え」が示されている。

問6 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の中から、レポートにおいて発見した際に修正すべきものを一つ、選びなさい。

- 1 各段落の冒頭を、一字分空けていない。
- 2 序論の内容と結論の内容に一切ずれがない。
- 3 レポート内で、授業の感想については一切述べていない。
- 4 1200字以内のレポート課題で、1200字を超えていない。

問7 次の問いに答えなさい。

下記の中から、レポート課題への取り組み方として、最も適切な説明を選びなさい。

- 1 レポート課題が出題されたら、入手に時間がかかることも考慮して、何よりも先に資料探しに着手すべきである。
- 2 レポート課題が出題されたら、締め切り日時までに仕上げられるよう、まずは序論作成に着手し、目的や「問い」を明確にしてから資料探しをするとよい。
- 3 レポート課題が出題されたら、資料探しや執筆よりも前に、課題内容やレポートの体裁に関する指示、締め切り日時や提出場所を確認することが大切である。
- 4 レポート課題が出題されたら、課題の指示を確認したうえで資料をそろえ、執筆に着手し、提出締切日のせめて1時間前には書き上げて、推敲・校正には時間をかけずに提出するとよい。